

2026年1月29日
富士電機株式会社

配電盤・電源装置の生産能力拡大に向けた筑波工場での設備投資について

富士電機株式会社は、配電盤、電源装置の生産能力拡大に向けて、筑波工場（茨城県稲敷郡阿見町）で設備投資を行いますのでお知らせいたします。

生成AIの急速な普及に伴うデータセンター、半導体工場の建設拡大に伴い、電力の安定供給に必要な機器の需要が急速に高まっています。また、日本国内においては、高度経済成長期に導入された社会・産業インフラの老朽化が進んでおり、配電盤や電源装置の更新需要が高まっています。

当社は、神戸工場（兵庫県神戸市西区）と筑波工場でこれらの設備に使われる配電盤や電源装置を生産しており、神戸工場ではすでに2026年10月の竣工に向けて生産棟の拡張や生産設備の導入を進め、完成後に生産能力は1.5倍に高まる計画です。

今般、新たに筑波工場での設備投資を決定しました。生産棟を新設するとともに、生産設備（クレーン・試験装置）を整備し、配電盤、電源装置の生産能力を現在の約1.7倍まで高めます。着工は2026年9月、竣工は2027年11月を予定しています。

同時に、神戸工場と筑波工場における生産拠点の役割を最適化します。神戸工場ではデータセンター、一般産業（工場、商業施設など）、鉄道変電所向け、筑波工場では一般産業、鉄道変電所、水処理施設向けの配電盤や電源装置を生産し、両工場で生産する一般産業、鉄道変電所向けについては、納入先に応じて生産拠点を振り分けます。

旺盛な電力需要に対して生産能力を高めるとともに、標準化設計や自動化生産も拡大し、さらなる生産性向上や生産リードタイムの短縮を図ります。

生産拠点の役割の最適化

神戸工場

- 製品
配電盤
電源装置

- 向け先
データセンター
西日本エリアの一般産業、鉄道変電所



筑波工場

- 製品
配電盤
電源装置

- 向け先
水処理施設
東日本エリアの一般産業、鉄道変電所



(注)本リリースに掲載している情報は発表日時点のものであり、予告なく変更する場合もございます。